

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1		療育スペースは64㎡で青梅市の事業所の中では最大級です。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4		管理者兼児童発達支援管理責任者1名 児童指導員7名 保育士2名 計10名で適正数確保しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	4		事業所開設時からバリアフリーで設計しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	3		半年ごとにアセスメントとモニタリングを実施した上で個別支援計画を作成し、日々の支援計画に反映させていただいています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	3		運動遊びや工作など毎回違ったものを計画しマンネリ化しないよう工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館等との交流を促す機会があるか	8	5	2	放課後児童クラブとの交流はないが、児童館は利用しており交流等があります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1		契約時丁寧に説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	14	1		毎回送迎時や連絡帳等で情報を交換し合い、共通理解が出来ていると思います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	1	コロナ禍のため、直接面談はできなかったが、モニタリング用紙を配布して意見や要望を聞いて支援に反映させていただいています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	9	4	コロナ禍のため、ここ3年間ではできませんでしたが、今後は保護者会等を開催して連携を深めていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5		今現在苦情等はありませんが、苦情受付担当者や責任者を決めて体制を整えていますので適切に対応させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1		個人の尊厳と人権擁護に基づき、適切に配慮させていただいております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を保護者に伝えているか	14	1		毎月「プログラム」の配信や「青梅教室おたより便」等を通して情報の発信をしています。また 自己評価結果は毎年ホームページに掲載しています。
	14 個人情報に十分注意しているか	12	3		鍵付きの書庫で厳重に管理しています。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2		左記のマニュアルはすべて策定しています。特に非常災害対策訓練はホームページのブログにアップし報告させていただいています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1		消防訓練は年2回、避難訓練は年4回計画し実行しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15			ありがとうございます。これからも指導員一同頑張ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	1		ありがとうございます。これからも指導員一同頑張ります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。